



だいの風

日高市立武蔵台小中学校

令和6年1月24日 第17号

今年度のキーワード「対話・創造・挑戦」

学校教育目標

- 自立 かんがえる子・じょうぶな子
- 創造 かんどうする子
- 共生 なかよくする子



「二十歳のつどいに参加して」



校長 秋馬 信之

1月7日(日)日高市文化体育館(ひだかアリーナ)において開催された、令和6年日高市「二十歳のつどい」に参加してきました。かつて、学級担任をしていた頃、恩師として成人式(令和4年までの名称)に参加したときは、式典中に騒ぐ者がいて本当に情けなく腹立たしい思いをしたこともありましたが、今年の新成人の皆さんの参加態度が大変立派で、誇らしく思いました。

今年の二十歳のつどいへの参加人数と参加率は、男性が225名で77.1%、女性が201名で72%、計426名でその参加率は74.6%でした。日高市の二十歳のつどいへの参加率は近隣の自治体より高く、教師として嬉しい限りです。

さて、本来二十歳のつどい(成人式)とは、一人前の大人になったことを社会的に公認するための厳かな儀式のことです。日本では、奈良時代から江戸時代にかけて広く行われた、男子の元服(げんぷく)、女子の裳着(もぎ)がこれにあたります。しかし、現在は厳かな儀式というよりは、小学・中学時代の友人や恩師との再会を通し、友人との繋がりを確認し、恩師にその成長ぶりや近況を報告する機会となっています。

日高市の場合は、「二十歳のつどい(式典)」が日高市文化体育館(ひだかアリーナ)で行われ、来賓の方から祝辞等があり「厳かな儀式」、そして「地区ごとのつどい」は各公民館で行われ、恩師を交えて実行委員による「手作りの会」という形になっています。私は高萩北中学校に校長として在籍したときの教え子と、5年ぶりに再会しました。あどけなかつた子が立派に成長し、また心配していた子が笑顔で参加している姿を見て、改めて教師という仕事はやりがいのある職業だなとつくづく思いました。

民法上では18歳で「成人」となりますが、健康面や経済面でさまざまな制限がありますが、20歳となり、ようやく一人の大人として「自分の判断で行動する」という一生に一度の人生の節目を迎えます。その大切な節目を迎える「二十歳のつどい」。いずれ20歳を迎える台っ子に、心しておいてほしいことがあります。それは、「二十歳のつどいは『武蔵台小中学校の卒業生として誇りをもち』卒業生全員が誰一人欠けることなく参加してほしい」ということです。

今後、皆さんが生活している学び舎は、卒業したら「かけがえのない母校」となります。今、かけがえのない仲間と共に学校生活を送り、勉強や部活動、そして運動会や音楽会などの学校行事等を通してたくさんの思い出をつくっています。そして、必ずそこには、皆さんを第一に考えてくれる先生方が傍にいて、皆さんを支えています。

そのかけがえのない仲間と先生方と二十歳のつどいで再会し、友人との繋がりを確認し先生方に自分の成長した姿を見せることは、とっても意義があり人として大切なことだと思うのです。そのことを、忘れないでください。しっかりと皆さん一人一人の心に刻んでほしい……。

1月12日（金）不審者侵入を想定した避難訓練を実施しました

1月12日（金）5校時に不審者が校内に侵入したことを想定した避難訓練を実施しました。避難訓練は、「もしもの時に備えて」行うものです。訓練をしっかりと行っていると、「もしもの」ときに、落ち着いた行動が取れるものです。1月2日（火）に日本航空機と海上保安庁機が接触し、両機が炎上したという事故がありました。不幸にも海上保安庁の乗員に犠牲者は出ましたが、日本航空機に搭乗していた方全員が生還できたことは奇跡といっても過言ではありません。

なぜ、全員が生還できたか・・・それは客室乗務員の方が、様々な状況を想定し、日頃から「もしもの」ときに備えて取るべき行動を想定していたことと、定期的を実施される訓練を真剣に行っていたからです。だから、乗客を迅速に避難させることができたのです。

学校においては、いざというときに備え避難訓練を年3回実施します。また、日頃から落ち着いた行動できるように、〇廊下を走らない〇相手の話をしっかり聞く〇時間を守ることなどの指導を継続的に行ってまいります。



1月14日（日）第33回ひだか郷土かるた大会・彩の国21世紀郷土かるた県大会日高予選会

1月14日（日）日高市文化体育館（ひだかアリーナ）において第33回ひだか郷土かるた大会が行われました。このかるた大会は、彩の国21世紀郷土かるた県大会日高予選会を兼ね、参加した各校の児童は県大会目指し白熱した札の取り合いを行っていました。特に感心したのは、シーンと静まり返った会場の中における児童の息をのむ集中力と札を取る速さです。改めてかるたとは、頭と心と体を鍛える競技であると強く感じました。本当に素晴らしかったです。県大会は3月10日（日）に今回と同じ日高市文化体育館（ひだかアリーナ）で開催されます。次は日高市児童の代表として、県内選りすぐりの児童と競い合うわけです。しっかり練習して本番に臨みましょう。期待しています！

〈大会結果〉

【小学生の部】優勝 ピクミン軍団 O・Mさん K・Aさん N・Nさん
 準優勝 ラヴィット！ K・Aさん T・Aさん M・Nさん
 【低学年の部】優勝 パンピュー M・Aさん A・Yさん K・Yさん
 【個人の部】 優勝 S・Aさん 準優勝 A・Mさん 第4位 K・Aさん

<団体>		
1, 2年	パンピュー	M. Aさん
		K. Yさん
		A. Yさん
1年	ハロウィンだいま	M. Aさん
		H. Mさん
		T. Yさん
4年	ラヴィット！	K. Aさん
		T. Aさん
		M. Nさん
6年	ピクミン軍団	O. Mさん
		K. Aさん
		N. Nさん
<個人>		
4年		S. Aさん
5年		K. Aさん
6年		A. Mさん
試合には出場しないが、練習参加者 〇1年 K. Nさん 〇6年 H. Kさん		

メジャーリーガーの大谷翔平選手からグローブが届きました！！！！

メジャーリーグで活躍している大谷翔平選手からグローブを寄贈していただきました。

グローブは23日（火）の体育朝会で子どもたちにお披露目し、同封されたメッセージを読み代表児童2名がキャッチボールを行いました。

大谷選手は全国の小学生に向けグローブをプレゼントしましたが、本校は義務教育学校なので後期課程の生徒にも使ってもらいたいと考えています。

〈大谷選手から手紙〉 ロサンゼルス・エンゼルス・オブ・アナハイムのメジャーリーガーの大谷翔平です。この手紙は、このたび私が学校に通う子供たちが野球に興味を持ってもらうために立ち上げたプログラムをご紹介しますためのものです。この3つの野球グローブは学校への寄付となります。それ以上に私はこのグローブが、私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいます。それは、野球こそが私が充実した人生を送る機会を与えてくれたスポーツだからです。このグローブを学校でお互いに共有し、野球を楽しんでもらうために、私からのこの個人的なメッセージを学校の子供たちに伝えていただければ幸いです。この機会に、グローブの寄贈をさせていただけることに感謝いたします。武蔵台小中学校の益々のご発展をお祈り申し上げます。 野球しようぜ。

〈台詞たちへ〉 未来は無限に広がっている まずやってみよう Let's begin!

大谷選手の名言「人生が夢をつくるんじゃない。夢が人生をつくるんだ」

「先入観は可能を不可能にする」

